



アトピーへの正しい視点 みんなで考える アトピー ジャーナル

JADPA



NPO法人日本アトピー協会

発行：NPO法人 日本アトピー協会

〒541-0045 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階 電話.06-6204-0002 FAX.06-6204-0052 Eメール:jadpa@wing.ocn.ne.jp ホームページ:http://www.nihonatomy.join-us.jp/

CONTENTS

- ◆皮膚の日講演会P1
- ◆息づかいを考える その1 皮膚の息づかいP2
- ◆息づかいを考える その2 息づかいを整えるP3
- ◆息づかいを考える その3 息づかいが荒くなるP4
- ◆フィラグリニン…注目の新学説P4
- ◆旧茶のしずく石鹸事件続報P5
- ◆ATOPIC WHO'S WHO アウグストウスP5
- ◆アトピーおばちゃんの娘です(最終回)P6
- ◆法人賛助会員ご紹介P6
- ◆読んでみました…を読みましたか?P7 (ドクターインタビューはお休みします)
- ◆ATOPICS 秋のレクリエーション報告ほかP8

◆◆◆◆◆ 皮膚の日講演会報告 ◆◆◆◆◆

京阪神地区しか会場めぐりは出来ませんし、ひととき比べてアトピー性皮膚炎に関する演題がめっきり減りました。またアトピー性皮膚炎に関して云えば講演を聞きに来る参加者も同じメンバーみたいな感じで「またお会いしましてねえ」と云う雰囲気。それだけアトピー性皮膚炎が「普通の病気」になったということでしょうか。少し前まで会場周辺でチラシなどを配っていた民間療法への勧誘や健康食品業者も会場めぐりをした限りでは見かけなくなりました。

奈良会場11月12日土曜日「学園前ホール」 奈良市立病院皮膚科 勝見祥子先生

秋の奈良でのビッグイベントは「正倉院展」、入場まで一時間待ちというのが常なので人混みを避けて午前中に見学を済ませ、その足で会場に来られた方々もちらほら。編集者もその一人で天平時代にアトピーはなかったなあ…と思ひながら会場へ。以下勝見先生の講演要約。

アトピー性皮膚炎は特異な病気ではなくありふれた病気ですので、恐れず冷静に、そして正しく対応すれば日常生活に差し障りない程度にコントロール出来ます。それにはまずスキンケアを念入りにすること、次に外用薬で炎症などの症状を一気におさえ、そのうえで原因を探し出して、その原因に長い時間をかけて対応し改善してゆこうというのが基本的な考え方。

そしてアトピー性皮膚炎はバリア機能が損なわれて皮膚の水分維持が正常でなく、また角質層という皮膚を構成している大事な部分が緻密でなく隙間があって、その隙間からさまざまなアレルゲンが皮膚の深いところまで侵入、炎症を引き起こしたり、逆に隙間から水分が逃げていったりします。この隙間を正しくすることがアトピー治療の基本。そのために患者さん個々に対応した治療を考えて実践しています。

皮膚科医は皮膚疾患全般を治療の対象にしていますので、たんにアトピー性皮膚炎だけでなく全体を見ながら症状を診断、とくに皮膚疾患の中には皮膚の病気にとどまらず、他の臓器の病状を反映している場合もありますので、総合病院という特性を生かして他科との連携を考慮し治療に専念しております。

和歌山会場11月23日祝日「和歌山市民会館ホール」 和歌山ろうさい病院皮膚科部長 中村智之先生

台風禍で南部は被害が大きかった和歌山県ですが県北部は穏やかな秋の風情で当日は和歌山城で食祭イベントが開催され、そんな中、会場の市民会館市民ホールを訪ねました。中村先生の講演では「さりげなくアトピー性皮膚炎と付き合う」と云うフレーズが印象的。以下その要約です。

まずアトピー性皮膚炎の現象を理解することから始めよう。ドライスキンとは何か、何故おこるのか、そしてアレルギーとは何か、それがどのようにしてアトピー性皮膚炎を引き起こすのか…を「何なのか」「どうしてなのか」「だからどうするのか」と云う三段論法で説明。つぎに治療の目標を患者さん自身が悟ること。つまりすべすべピカピカの肌は高望み、日常生活に差し障りない程度の改善、そして酷い症状が出て未来永劫続かないことなどを悟って治療に過度な期待をしないこと。ほどほどまでの改善で満足しよう。そのうえでさりげなく治療に取り組もう。無理をしないこと。ただし清浄と保湿、出来るだけ規則正しい暮らし方、外用剤をきちんと塗ること、そういった「さりげないアトピーづきあい」が肝要。力むことなく、かといって怠らず、自然体で治療に取り組んでくださいという結語でした。



自助努力なくして改善なしと、普段、協会は患者さんをお願いしていますが、これに「さりげなく」ってコトバを付け加えたいと思います。

和歌山会場・中村先生の皮膚の日講演風景

息づかいを考える。 その1・皮膚の息づかい

アトピーと息づかいてどんな関係

アトピーと呼吸って云ってしまえば身も蓋もないのですが「息づかい」と云えば何かあるように思え、いろいろと調べました。アレルギーと呼吸とすればイコール「喘息」ですがアトピー性皮膚炎と呼吸についても少し気になることがありました。その前に一般に信じられている伝説的な誤解のお話をしておきましょう。

伝説的な誤解、「皮膚呼吸」ということ

カエルなどの両生類は粘膜炎性の皮膚を通じて炭酸ガス・酸素のガス交換機能が働き、肺呼吸に対して高い割合で皮膚呼吸が行われているとされています。しかし私たち人間に限って言えば肺でのガス交換量に比べるとゼロではないが皮膚呼吸は無視できるほど少ないものとされています。

ボンド映画で全身金粉まみれの踊り子が呼吸困難で倒れるというシーンはフィクションですが皮膚呼吸存在論は未だにさまざまな分野で恐怖をかきたてます。やけどで皮膚機能が損なわれて皮膚呼吸が出来なくなったということも臨牀的には説明できないと云うことです。

一部の東洋医学やヨガなどでは皮膚呼吸と肺呼吸の割合を変えることが健康維持に役立つと解説されていますが、皮膚呼吸は医学的にはほとんど否定されています。

しかし皮膚呼吸と経皮吸収とは大違いです

皮膚の表面積はおよそ1.7平米とされています。その皮膚からはごく僅かしか呼吸はしませんが皮膚に接触することでさまざまな物質が吸収されます。

物質が皮膚から体内に入るには三つのルートがあります。

ひとつは毛根や汗腺などの皮膚にあいた「穴」を通して体内に入るルート、そして角質層のすきまを縫って入るルート、三つ目は角質層などの皮膚を構成する細胞同士の間で主に生理信号物質を送り届けるルートがあってそれぞれ一長一短があるようです。角質層と角質層の間隔は健康な人ではごく狭く2~3ナノメートルで、これは百万分の2~3ミリということなり1キロメートルで2~3ミリという計算。従ってこの間を通り抜ける物質の分子量が大きくなると通れなくなります。ステロイド薬は分子量が1000以下で容易く通れますが、コラーゲンは10万単位となり皮膚から吸収されないのはこのためで、医師の受け売りですが針の穴に綱引きの綱の10倍ほどの太さを通せと云っても無理…角質層間の隙間ってそんな感じだそうです。

角質層の厚さ薄さで到達効力が違います

主に角質層で構成される角質細胞層は人の部位によって違います。一番厚いところは、もちろん足のかかとですが、手のひらなどととも角質細胞は100層ほどの層状となっています。逆にいちばん薄いのは外陰部で6層ほど、顔面は10層、腕で14層ほどとなっています。従って角質細胞層が薄ければ物質の透過率が高く、厚くなれば透過率が少なくなります。透過率の目安としては肘の内側を1とした場合、額は6倍、外陰部などは何んと42倍とされています。ステロイド外用薬を塗るときにこの透過率を考え医師は外用薬を処方。顔にはコレ、背中や腕はこの軟膏…と細かく指示するのはこのためです。

皮膚から薬品を体内に届ける方法=TDS

薬剤を如何に効率よく患部に到達させるかという方法をドラッグデリバリーと云います。錠剤を飲む、注射する、座薬を挿入するなどのことで、そのひとつが経皮吸収による方法、TDS=トランス・ダーマト・システムと呼ばれ主にパッチ剤やテープ剤に応用されています。

皮膚を経由し血管に入り血流にのって患部に届ける方式ですので、薬剤を一気にドカッと届ける注射等ではなく、パッチやテープに塗布されている薬剤が残っている限り、徐々に放散しジワジワと届けることができます。糖尿病に対するインスリン療法、狭心症でのニトロ療法などに重宝されています。

ステロイド外用薬でもこの方式が有効な場合もあってパッチ剤、テープ剤としてアトピーの方にはお馴染みかも知れません。

最近よく聞く「怖がらせサイト」での経皮毒

ステロイドバッシングに端を発した患者さんへの「怖がらせサイト」は未だ花盛り、「怖がらせサイト」の特徴は、あるものを怖がらせて、代替品を紹介してこれなら安心安全と云いながら高額な商品を買わせる。もちろん善意の個人が警告を発しているサイトもあって、その中で「経皮毒」をアピールするサイトが目立っています。

肌着の残留洗剤の成分、主に界面活性剤が経皮吸収され体内に入り込んで健康障害を与えると云う警告サイトで、パッチ剤(添付薬)のドラッグデリバリーの高効率を考えると無視できない面もあるようです。

洗剤に含まれる界面活性剤は分子量が意外に小さく500以下のモノが多いので皮膚透過は容易と思われる。ただ多くの場合、繊維に付着した残留洗剤は皮脂の汚れや軟こう汚れなど脂肪やタンパク質との抱き合わせになっているので分子量が大きくなって皮膚の深層に到達することは考えにくいと云う意見もあります。肌の敏感な方にはかぶれて湿疹などの原因になる可能性は否定できません。

また乳幼児の肌には残留洗剤による影響があるかもしれません。洗剤選びに慎重を期したいものです。

肌のバリア機能が損なわれると不都合なことが起きます。

健康な皮膚はしっかり組まれたレンガ造りの建物にたとえられ、外からの風雨や砂塵を防ぎ内からの熱などの逃げもありません。ところで、このレンガ組が粗雑で欠けたり隙間が広いと外から風やホコリが入ってきたり、内からは冷暖房や湿度調整をした快適な空気が逃げてゆきます。

アトピー性皮膚炎はこのレンガ組にたとえられる角質層に歪みがあって、隙間だらけの状態と云われています。

その隙間から皮膚の水分が蒸散し、逆に外界からは有害物質がフリーパスで入ってくる…そんな状態になっています。とくに皮膚の保湿能力が小さくつねにかサカサに乾燥した状態、バリア機能が損なわれてダニアレルゲンなどが侵入しやすく、これに生理的なメカニズムで細胞レベルの反応がおこり痒みが誘発されます。

角質層の歪みは遺伝的なもので「きっちりとしたレンガ積み」にすることが難しいとされ、念入りなスキンケアが「隙間だらけのレンガ積み」に対応する有効な方法とされています。

息づかいを考える。
その2・息づかいを整える

正しい姿勢・正しい呼吸

茶道や華道、剣道、柔道など、あるいはピアノやバイオリンなどの初心者をはじめに姿勢を正すことをやかましく指摘されます。お稽古ごとに限らず祖母祖父と同居の家庭では日頃の暮らしのなかでの粗雑な立ち居振る舞いに厳しい声が飛んできます…と云っても、もうそんな昭和の暮らしは遠くなりましたが…。そんな中で私たちの今の暮らしの中では前かがみになって携帯メールやゲームに熱中したりパソコンに向かう時間が多く、常に気管支や食道を圧迫しつづける呼吸器系統や消化器系統に影響を及ぼします。また肩や背中が引張りられ、反対に胸やおなかの皮膚が収縮傾向となり、こんな状態が長時間続くと体にいい筈がありません。

椅子に腰かけるときは背もたれに出来るだけ深く腰掛けましょう。多くの場合、腰掛けに半分だけお尻が乗っているといった状態ですね。深く腰掛けすると背筋も正しい状態となります。椅子のデザイナーはそれを計算に入れて設計しているそうです。机に向かわないカウチやソファの場合はつつい足を組みますが、できれば両膝をそろえて座りましょう。時には床に座る正座も試みてください。昭和の初めまで暮らしのなかの全てが正座でした。

僧侶に健康者が多いのは正座が中心の暮らしで、さらに読経などで呼吸を整えていることが大きな要因とされています。ときどき背伸びをしたり深呼吸をしながら体の緊張状態は大切な動作です。そして呼吸を整えましょう。

腹式呼吸のすすめ

成人男性が思い切り空気を吸い込む量（肺活量）は大体4から4.5リットル、女性で3から4リットル。しかし普通にしていてときの肺の換気量は約0.5リットルで1分間に16から18回の換気、つまり呼吸が行われています。

運動時は当然、呼吸は速くなりますし一回の換気量も倍近くなることもあります。また安静時でも深呼吸をすると2リットルぐらい吸い込みます。

私たちの肺には肺胞が約3億個あってその表面積はおよそ60㎡、坪換算で18坪余り…ということは約32畳敷きの大広間に匹敵。ここで酸素と血液が触れ合って生命が維持される仕組みです。

東洋医学をはじめヨガなどでは治療や修行に腹式呼吸を取り入れています。実際に呼吸吸気が胃や腸で行われるわけではないのですが、息を吐くときにお腹を引っ込め、吸うときにお腹を膨らませる感じ、胸で呼吸していてもお腹に空気が入りしているというイメージ。

腹式呼吸を行うには背筋をピンと伸ばし姿勢を正しくしなけ

れば出来ません。そんな状態で横隔膜が思い切り上下するような感覚で呼吸を整えるのです。姿勢を正せば胸やお腹を圧迫することなく本来の働きを促します。

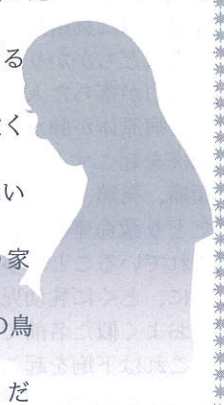
「腹式呼吸」が健康にいいのではなく姿勢を整えるから健康にいいと説明されることもあり、姿勢が整うと生理機能のリズムが安定し自然治癒力などが強化されるとされています。

声楽家は声が楽器、つねに調整を怠りません
それを真似ましょう

直立してやや首をあげて「あ〜」と15秒間声を出す、でもふつうは10秒ほどで息が続かなくなります。直立して声を出すのがポイントですが「あ〜」からはじまって「お〜」で終わるころには結構、息づかいが荒くなっています。その後「あめんぼあかいなアイウエオ…」と五十音の歌詞を声に出して息づかいを調整。多くの声楽家が行っているこの方法はどこでも気軽に出来ますのでぜひ試みてください。出来れば朝早く起きて公園などで外気に当たりながら発声してみる…、ついでながら街角の公園では太極拳をおこなう人が多くなってきました。見かけたらぜひ参加しましょう。太極拳は本来は武術ですがあのゆったりした動作はまさに姿勢と呼吸を鍛えるうってつけのメソッドです。

声を出して読んでみましょう
北原白秋作 [五十音の歌]

あめんぼあかいな アイウエオ
浮き藻に 子エビも 泳いでる
柿の木栗の木 カキケケコ
きつつき こつつ 枯れけやき
ささげに 巣をかけ サシスセソ
その魚 浅瀬で 刺しました
立ちましょラツパで タチツテト
トテテ たつたと 飛び立った
なめくじのろのろ ナニヌネノ
納戸に ぬめって なにねぼる
鳩ぼつぼほろほろ ハヒフヘホ
日向のお部屋にや 笛を吹く
まいまい ねじまき マミムメモ
梅の実 落ちて も見もしない
焼き栗 ゆでぐり ヤイユエヨ
山田に 灯のつく 宵の家
雷鳥は 寒かる ラリルレロ
れんげが 咲いたら 瑠璃の鳥
わいわい わつしよい ワイウエオ
植木屋 井戸替え お祭りだ



患者さんからのご相談は
いつでもお受けします。

症状が一向に改善されず長びく治療にイライラが募り、先行きを悲観…ちょっと待った！全国約450万人の方があなたと同じ悩みをかかえています。ここはみんな「連帯」し、ささえあいましょう。日本アトピー協会をそんなコア＝核としてご利用ください。

ご 相 談 は

F A X : 06-6204-0052
メール : jadpa@wing.ocn.ne.jp
電 話 : 06-6204-0002

お手紙は表紙タイトルの住所まで、なおご相談は出来るだけ文面にお願いします。電話の場合はあらかじめ要点をメモにして手みじかをお願いします。(ご相談は無料です。)

◆協会は法人企業各社のご賛助で運営しております。 ◆患者さんやそのご家族からのご相談は全て無料で行ってあります。

息づかいを考える。 その3・息づかいが荒くなる

ちょっと気になる呼吸器の病気

呼吸をテーマとしましたので、これから空気が乾燥する季節となり、やはりインフルエンザが心配です。アトピーの方の多くは日常的に医師にかかっているので予防接種などはもう済ませたと思います。まだの方は皮膚の状態が安定している時にぜひ受けてください。

さてアトピーと関連した呼吸器の病気と云えば喘息ですが、これは少ない紙面でお話しできませんので喘息以外で気をつけたい意外な呼吸器の病気があることを知っておいてください。

過呼吸症候群

過換気症候群ともいわれます。アトピーが長びくなど、あるいは痒さ地獄など精神的な不安によって過呼吸になり、その結果、手足や唇の痺れや動悸、目眩等の症状が引き起こされる心身症の一つです。

過呼吸により血液がアルカリ性に傾くことから呼吸性アルカローシスとも呼ばれています。

息苦しくなって神経系や意識が酸欠状態として誤認した結果、さらに激しい呼吸を行ってしまい、より症状が強くなるという悪循環となり、胸部の圧迫感や痛みや手足、唇の痺れ、頭がボーとする、死の恐怖を感じるなど不安要素がいっぱいとなって場合によっては失神。

しかし直接的にこの症状が原因で死ぬ事はありません。

ごくまれに心臓発作などを誘発し死に至るケースあるということですが一般的に発作は数時間以内に自然になおります。几帳面な性格のひと、徹夜勉強などで疲れがたまった受験生に見られ、パニック障害やうつ病などに移行すると長びき、精神医学の領域となります。

クリプトコッカス症

酵母に似た真菌類「クリプトコッカス菌」による感染症で人間、犬猫などもかかります。主に呼吸器が侵され免疫抑制状態の人や体力が落ちた人たちが罹患しやすいとされています。鼻水が出て病原体が肺から移動すると厄介なことになります。髄膜炎、脳炎を起こすし、とくにクリプトコッカス性髄膜炎の症状は、頭痛、発熱、無気力、昏睡、人格変化、記憶障害などの経過をたどり致命率は12%とされています。病原体はハトの糞に含まれていることが多くお寺や神社でハトに餌をやるのはほどほどに、とくに乳幼児は要注意です。

なおよく似た名前でクリプトストロジウム症という病気があったこれは下痢を起こす腸の病気です。

オウム病

ハトが媒介するクリプトコッカス症と同じく鳥から感染する人や家畜に共通の感染症。クラミジア菌が原因でクラミジア病と呼ばれます。必ずしもオウムではなくインコなどの小型の鳥類をはじめ小動物など鳥類以外から感染することもあり、いずれも排泄物中に菌が含まれます。

発病はインフルエンザのような症状で、治療が遅れると肺炎や気管支炎などの呼吸器が侵されます。

牛などがかかると、ちょっと大変なことになり畜産関係者の間ではかなり警戒されています。人の場合は抗生物質の集中投与でほとんど治癒するとされています。

肺アスペルギルス

喘息のような咳が続きながら喘息ではなく、肺炎に移行するよ

うな症状で、アスペルギルスというごく普通に空中を漂っているカビが肺に住み付いたことで起こる病気です。アスペルギルス菌は一種ではなく多種多様でアスペルギルスと云えば土壌や家の中で繁殖するフミガツ (Fumigatus) が普通ですが、我が国で特異となっているオリザーエ (Oryzae) という酒、みそや醤油醸造に欠かせない麹菌による症例が多く抵抗力が弱ると重い症状となることがあって、フミガツによる場合は致命的となるケースも報告されています。また I g E 値が高い場合はアレルギー性気管支肺アスペルギルス症に移行していることがあり喘息と同じような症状が続きます。カビはアトピーや喘息だけでなく密かにそして静かに呼吸器を犯していることもありご用心を。

乾燥肌を守るフィラグリ、注目の新学説

フィラグリが健全だとアトピーは起こらない

最近、フィラグリという耳慣れないコトバをよく聞きます。皮膚の構成に関わりのあるタンパク質の一つで、ケラチンをつくる際にひと働きして、その後、分解されて NMF (天然保湿因子) のペプチドとなって保水機能に貢献しているということです。この有能なタンパク質フィラグリンの遺伝子に異変があるとアトピー性皮膚炎や乾癬になる割合が高いことが判ってきました。アトピー性皮膚炎の患者さんの 27%、4人に1人がフィラグリ遺伝子に変異が見られるということで、この変異は欧米人とは異なる日本人に固有のもので、その違いは何かまだ解明されていませんがフィラグリ遺伝子変異がアトピー性皮膚炎の発症因子の一つとなっていることは確定されました。

さらにフィラグリ遺伝子変異はアレルギー性鼻炎や喘息にも重要な発症因子となっているということで、この変異を見つけたら発症を予防できるかも知れません。

フィラグリはケラチンづくりに大切な働きをします

ケラチンは皮膚などの細胞が角質化する時の母体となる細胞構成物で、皮膚角質層も爪も髪の毛もケラチンで構成され、そのケラチンは様々に区分けされています。

例えば K6 と K16 は爪をつくっていて K2 は角質層最上部を構成、逆に粘膜層にも K13 というケラチンが関与しているとか、詳しく研究されています。

そのケラチンづくりにフィラグリが関与し、フィラグリが正常でないケラチンづくりに歪がでます。

またケラチンがどのようにして生まれ、どのように消滅するか、そのメカニズムが判ようになってきました。したがってどの段階で湿疹ができ、どのような仕組みで「痒み」が発生し、それにはどのような生体物質が関わっているのか、かなり詳細に判ってきました。

国を守る軍隊にいろいろな部隊や部署があって、市民を守る警察も同じで、さらに企業には保安課があったり外部の警備会社にはガードマンがいたりして、そんな中でみなさんは「安心安全」の担保を得ています。

体も同じで個々の細胞レベルでの免疫の役割分担がとてもクリアになったのです。

遺伝子異変への対応でテーラーメイド医療の可能性

皮膚の表層細胞をつくる、このタンパク質フィラグリンの遺伝子異変のタイプが判れば、それに合わせて個人個人に対応出来る治療薬が出来るかも知れません。テーラーメイド医療といわれるこの分野は西洋医学の限界を超える新しい治療法として期待されています。アトピー性皮膚炎に限ればフィラグリ遺伝子異変が日本人特有のモノとして解明され、日本独自のテー

ラーメイド医療が可能となります。

遺伝子治療は個人の体内情報を得ることからはじまりますのでプライバシーの問題も生じますが、何よりも研究の国際協力という名のもとに私たちの体内情報が海外の巨大企業に握られ、農業分野で米をはじめ種子のほとんどがアメリカの巨大穀物商社に支配されているのと同様、みなさんの遺伝子情報を握られてしまうのは、なんとも心が落ち着きませんね。遺伝子の情報解読が出来たなら早急な製剤化を願いたいもの。イギリスのダンディ大学アーウィン・マククリーン教授が既にこの分野で先行しているとのニュースはNHKの番組でも紹介されました。革新的なアトピー治療薬が、もう手の届くところに来ているかも知れません。

混同しないための…コトバの違い

ケラチン

皮膚の表皮細胞などを構成する物質でタンパク質の一種。酸性や中性・アルカリ性といったタイプがあって皮膚角質層細胞になったり毛になったり爪になったりします。

セラミド

脂質の一種でタンパク質ではありません。細胞膜に含まれて細胞間での生理信号のやり取りや細胞が分裂したり細胞を死なせたりする役割を担います。とくに細胞膜からセラミドが飛び出すと細胞が消滅することで知られ「細胞死のメッセンジャー」といわれています。

このセラミドづくりの機能が正常でないアトピーになるという説もあります。

1年も前から判っていながら止められなかったのがな。

旧茶のしずく石けん事件

真犯人は「グルパール19S」

日本アレルギー学会の特別委員会で「茶のしずく石けん」の旧製品に関する原因物質が正式に加水分解コムギ末「グルパール19S」と確認されました。

グルパール19Sは株式会社片山化学工業研究所が製造した商品名で、同社だけでなく多くの会社がさまざまな商品名で加水分解コムギ末を販売しています。

株式会社片山化学工業研究所は試薬をはじめとし、とくに水処理関連の薬剤を得意とする大阪東淀川区にある中堅企業で外洋を航行する船舶が寄港地などから有害生物を持ちこまないようにする薬剤を開発するなど、環境への配慮に貢献しているが、今回の事件では足元をすくわれた感じ。この事件は1年前の平成22年10月15日付厚生労働省医薬食品安全対策課から「加水分解コムギ末を含有する医薬部外品・化粧品の使用上の注意事項等について」という通知が出されていたにもかかわらず、今頃になって騒ぎが大きくなったこと。またこの石けんを製造した株式会社フェニックスは販売会社の株式会社悠香からOEMで石けんを請け負って製造する奈良にある企業ですが、厚生省の通達を受けて消費者にお知らせを流したのが今年の9月で、遅きに失した感はぬぐえません。

なお余談ですがコムギ摂取による運動誘発性アナフィラキシーはアスピリンの関与が無視できないという学会発表があってこの石けんに関係なく「風邪でアスピリンやパファリンを服用して給食でパンなどを食べて午後の五時間目が体操の時間…」というのは、ちょっと怖いかも。

さて今回の事件で会社が潰れないのが不思議という声も多く聞かれますが、しかし会社が潰れたら被害者への補償はどうなるのでしょうか。会社が存続してこそ被害者救済の道が開けます。およそ半世紀前ですがカネミ油症事件があり多くの被害者が出ました。製造販売したカネミ倉庫株式会社は今も被害者への補償のために当時のまま小倉で事業を継続しています。PCBをはじめとし内分泌ホルモンかく乱物質はこの事件があってから研究されるようになったのです。

この事件はアレルギーに無関係だった人が原因不明なまま発症し、有効な手だてが打てなかった点にあります。また加水分解コムギ末というごくありふれた食品添加物が突然キバをむき被害者が多く出たことは、安心安全とされている「ポジティブリスト」記載の食品添加物でも用心をしなければ…ということで、先生方による再度のポジティブリスト見直しが行われることを願っております。

ATOPIC WHO'S WHO

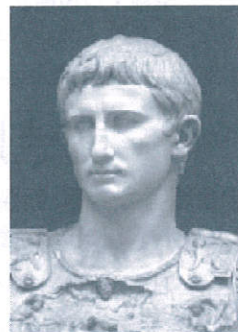
連載第1回 アトピーで苦しんだ歴史上の人物

ローマ皇帝 アウグストゥス

古代ローマの英雄アウグストゥスは皇帝となって以後の尊称で、はじめ「オクタヴィアヌス」と呼ばれ紀元前27年頃、有名なシーザーの養子となります。そしてシーザーが暗殺されると暗殺者と目されたポンペイウスやブルータスを葬り、宿敵アントニウスとクレオパトラ連合軍との戦いに勝利し元老院や平民会議で推挙されローマ皇帝となります。アウグストゥスは商業を盛んにしローマ帝国繁栄の礎を築き、しばらくは戦争のないパックス・ロマーナ(ローマによる平和)の時代がつづきます。宮尾登美子さんの著書「クレオパトラ」にはアントニウス・クレオパトラ連合軍を追ってエジプトに行軍する馬上で強烈な痒さが襲いそれと戦う様子が描かれています。彼がアトピー性皮膚炎であったかどうかは2千年も前のことで検診出来ませんが、鼻づまりや喘息気味だったという資料もあって何かのアレルギーであったことは確かなようです。病気の歴史を調べる学問を医史学と呼びますが、ミイラなどのDNAを材料にかなり正確に判定することができるそうです。

宮尾登美子さんは歴史的な考証を重視することでも有名ですので確かなことと考えられ、出来れば出典をお聞きたいもの。なおアトピーの語源はギリシャ語、その古代ギリシャを武力占領したのはローマですから、これは何かのたたりかな…なんて不謹慎ですね。また7月のJULYはジュリアス・シーザーに由来しますが、その跡を継いだのがアウグストゥスなので8月はAUGUST。ちなみにこの4代後が暴君ネロで、彼が善政を行っていたら12月辺りはNEROになって呼ばれていたかも。ネロの死後シーザー(カエサル)の系譜が途絶えて賢帝と呼ばれる時代の到来、この後も平和なパックス・ロマーナの威光がつづきます。

アトピーだったアウグストゥス帝が戦争のない世の中を築いたって、ちょっと良いハナシだと思いたいですね。



アトピーおばちゃんの娘です 連載3 「アトピーがてドイツで暮らせたんや」

「グーテンモルゲン、ゾンネンシャイン=お早う、お日様いっぱいだよ」とのルームメイトの声に起こされ、そうなんや、ここはドイツなんやと改めて思い、「あゆみ、起きなさい！いつまで寝てるの！」との母の怒鳴る声が妙に懐かしく感じました。

観光旅行ではないので「ねぐら」の確保が当面の課題。当初は語学研修で入学した学校の寮でした。その後、現地在住の日本の方の好意で部屋を提供してくれましたが、いつまでも甘える訳にもゆかずネットなどでルームシェアを探しベルリンで手ごろなコンドミニウムを見つけました。

ルームメイトはスウェーデンから来た学生さんで、少し年上のチャーミングな女性でした。アトピーについては概ね理解してくれ、あれこれ面倒を見てくれました。ベッドの大きさには驚きました。またモリモリと食べてグイグイと飲むことにも感心。バイタリティーが違う筈やと思い、私もモリモリ食べることにしました。

パンやソーセージの美味しいこと…幸い肉や小麦アレルギーがないので「アインブロット、アインブルスト=パンとソーセージちょうだい！」と覚えてたのドイツ語を連発し「ねぐらと食い物」はまず安泰でした。

ところが肝心の就職なのですが、今回は語学研修とデザインの勉強が目的でしたので親からの送金を有り難く頂戴することとして街中を散策しました。

ベルリンは東京に似てUバーンという地下鉄とSバーンという山手線のような高架鉄道があって何処に行くにも便利でした。ダーレム美術館や画廊がいっぱいあって、さすがにデザイン発祥の地、わくわくキョロキョロ、見るところがいっぱい、すっかりアトピーのことを忘れました。

そんな折、意外なことが起こりました。ハロウィン・パーティーで「フロイライン アユミ」と声を掛けてくれた生粋のベルリーナに巡り合ったのです。出稼ぎの東欧人が気軽に女性を引っかけようと声をかけてくるケースは多いのですが、グリーンがかった青い目に金髪、ややジャガイモ型の典型的なゲルマン顔、容貌といい立ち居振る舞いといいまさにドイツのイケ面。夢でも見ているのか、からかわれているのかといぶかりましたが、付き合っているうちに「これは本気や」

と身が引き締まりました。相手も学生さんです。

「わたしアトピーです」とドイツ語で何んて云っていいのかわからず、でも見たら判るやろ…と鏡に自分の姿を映すと、何とすべすべの肌。あのカサカサ肌は何処へ行ったのやろ…と思う一方、彼にアトピーであることが判ったらどうしよう…と不安がいっぱいになりました。

ストレスからも症状は悪化しますが、ドイツ滞在中は大きな変化もなく落ち込むこともありませんでした。水の問題、気候風土や食べ物の違い、コトバの問題などプレッシャーがいっぱいだったのに不思議でした。

そんなことがあって、あつという間に6か月が過ぎてルンリンで日本に帰ってきました。彼とはもちろん毎日の国際通話、しばらくして再度ドイツに行き彼の家にも招かれご両親にあつてきました。それで前回もそうでしたが日本に帰ってくるに判で押したようにアトピーが出てきて、もしかしたら母親がアレルギーかなって思い、そう言いましたら「アホか！」って一喝されました。

そんなことで現時点ではとてもハッピーな報告で3回連載を終わります。

機会があればまた続きを書かしてください。泣き泣き書くかもしれませんが…



法人賛助会員様ご紹介 第5回 (敬称略)

協会は多くの法人賛助会員さまの年会費によって会務を行っております。そこでささやかな紙面ですが日頃お世話になっている法人様を入会年度順にてご紹介してゆきます。関係各位にはコメントをお願いしておりますので是非アトピーの患者さんへのひとことをお願いいたします。

◆エーザイ株式会社

〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
電話03-2817-3997
業種・取扱商品 製薬業 医薬品
設立時よりご入会

◆日織商工株式会社

〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町2-3-11
電話06-6261-8251
業種・取扱商品 繊維商社 各種タオル
平成16年10月ご入会

アトピー患者さんへのひと言

地球に、人に優しいタオルを開発している会社です。「お肌に低刺激」のタオルもその一環として開発した商品で05年から店頭に並びます。05年には同じ素材のガーゼ地の部屋着を作る予定ですが、アトピーで悩んでおられる皆さんの「こうしてほしい」要望をわかった上で作りたいので、よろしければ次のアドレスまでお知らせください。kimata@nissen-shoko.co.jp

皆さんでつくるアトピージャーナル

医学会患者会情報・新製品ニュース・話題・トピックスなど随時ご投稿ください。

鋭意検討のうえ掲載いたします。

次号発行予定 1月12日

日本アトピー協会通信紙 **あとぴいなう**

発行 特定非営利活動法人 日本アトピー協会
発行人 後藤田 育宏 主幹 倉谷 康孝

〒541-0045 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階
電話 06-6204-0002 FAX.06-6204-0052
E-Mail jadpa@wing.ocn.ne.jp
Home Page <http://www.nihonatomy.join-us.jp/>

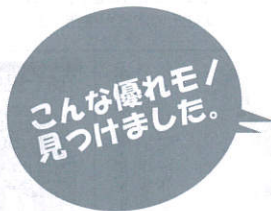
協会主催秋のレクリエーション報告

青山高原「猪の倉温泉」でバーベキュー&入湯体験

秋晴れの11月13日曜日、皮膚の日の翌日ですが、大阪発京都經由名神伊勢自動車道と迂回してのマイクロバス小旅行、大阪発着組は現地滞在より移動時間の方が長いなあ…といいながらも晩秋の一日をたのしく過ごしました。「猪の倉温泉」は協会の賛助会員企業さんでもあり、また青山高原は三重県津市にある標高600メートルの疎林と草原が混在する古くから関西・中京地区では知る人ぞ知る健康ゾーン。藤田保健衛生大学の高原サナトリウムもあり、また各企業の保養所もあって空気は清澄。

猪の倉温泉の泉質はpH9.3のアルカリ性単純泉で源泉かけ流し。入湯した感じではメタケイ酸のぬめり感が肌に心地よく、湯あがり肌への残存感がなくスッカリ。見た目は無色透明、無味無臭、温泉としては申し分ない特性。

さてバーベキューは専用の施設があってそこで火起こしから始めましたが何しろ炭というしろものに慣れてなくスタッフは大奮闘。やっと火力が増してきたみなさんの胃袋を満たすことが出来ました。マイカーでの参加も一部あり、その方たちとは現地解散。帰りのバスの中はひたすらグーグー、でもみなさんご満足でした。



誤飲防止のために

セーフティーキャップ付き投薬瓶

何の変哲もないタダの投薬瓶ですが、ちょっとした優れモノです。ふたをねじるとキリキリというかコリコリというか、軽快な音がするだけで開けることが出来ません。そこでふたを本体に押しこむように少し力を加えてからねじると普通にふたを開けることができます。セーフティーキャップ仕様ですが子供がかんたんに操作出来ないようにする機能ということで、チャイルドレジスタンス、略してCR機能と呼ばれます。

これは幼児が不用意に薬を飲み込まないための仕掛けで、瓶本体は力が加わっても割れない素材が使われています。またコリコリと軽快な音がするため薬に対しての忌避感を軽減し、お母さんが「コリコリのお薬飲もうね…」というような会話の糸口にもなり、アメリカでは標準仕様として採用されているところが多いとか。残念ながら日本での普及はいまいち。

錠剤にしるカプセルにしるプラスチックにアルミを張り合わせたPTP包装(プレス・スルー・パッケージ)が主流。処方される錠剤・カプセルは全て此のPTPなのでわざわざ手間かけて投薬瓶に移す必要もないのですが、CRの観点からもっと普及してもいいのでは…。ただ調剤されたシロップ剤には打ってつけですので小児科の先生方にはぜひご採用をお願いします。問合せ先・株式会社金鶏製作所・東京都文京区湯島2-19-12・電話03-3815-2971

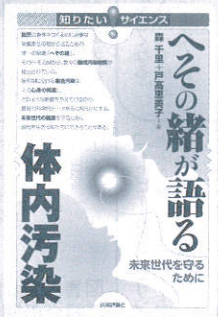
読んでみましたこの書籍



◆「へその緒が語る体内汚染」
森千里・戸高恵美子共著

(株)技術評論社 1659円(税込)

非常にショッキングなタイトルですが、考えてみると「やっぱりあるよね～」と思いながら読みました。環境汚染物質が体に与える影響はゼロではないと思いますが、危険度レベルってあるのでしょうか。ただ胎児にさえ影響があるとすると今の数値が低くても考えないといけないレベルなのかもしれません。桐箱に入ってパリパリに乾燥した自分のへその緒は見た事はありませんが、この書籍で初めてへその緒の断面写真を見ました。お母さんから栄養をもらう臍静脈という穴が1つと胎児から老廃物や二酸化炭素をお母さんに戻す臍動脈という穴が2つ空いているなんてご存じでしたか。子供のアレルギー疾患が増加してる事や「子供が切れる」とか「学習障害」(LD)やギランバレー症候群なども関係しているかも？と考えさせられます。人間が狂った進化をしない様にと願う一冊です。



◆「病院・医師を味方につける65の知識」
木田 健著

実業之日本社 762円(税込)

著者は医療コンサルタント。サブタイトルに「病気になる前に知っておきたい医療業界のしきたり」とあります。「しきたり」は、やはり医療にも独自のものがあるようです。医療コンサルタントの方らしく、様々な費用について「あっけらかん」と書かれており内部告発?と思える内容です。少しビジネス的な捉え方で書かれていて、医は仁術か算術か?と誤ってしまいました。また医療現場を支えるドクター達は、やはりとても過酷な労働環境で1万人の勤務医アンケートでは約600人のドクターが自殺や突然死を考えた事があるという結果が出たそうです。医療訴訟やモンスターペイシエント対応、そのうち脈拍を取ったらセクハラって言われる日がくるのでしょうか。患者としてもドクターを味方につける前に、病院・医師との付き合い方を勉強しないといけないかもしれません。



図書館の貸し出しいたします。詳しくはお問い合わせください。TEL 06-6204-0002 FAX 06-6204-0052